

山南町の恐竜化石を活かしたまちづくり

兵庫県丹波市・かみくげ恐竜の里づくり協議会 会長 土田 芳章
事務局長 ○村上 茂

1. 活動方針・目的

国内最大級の草食恐竜（丹波竜）化石の発見を千載一遇のチャンスにとらえ、恐竜化石を地域資源に活用したまちづくりを住民一丸となって推進し、地域の活性化と収益性をめざす。来訪者からの経済効果を期待したまちづくり活動を通じて得た収益金を高齢者の福利厚生や子育てに励む若い家族らを支援、応援する地域固有の方策で地元還元することを終局の目標とする。

2. 活動内容

恐竜化石発掘現場から取り出した小石を割って1億年前の生物の化石（恐竜のほか小動物、貝類、たまごの殻など）を探す発掘体験を小学生から大人までを対象にして自然科学の学習を実施。また、発掘現場周辺の地層、断層、岩石など地学学習の場として市内外に広く PR。意匠登録された恐竜焼き（地元大納言小豆入りとお好み焼き風味）の販売による丹波竜の里の PR、地元減農薬野菜のほか、恐竜関連グッズの販売や各種イベントの開催など。

3. 他の活動団体の参考となる事例

化石発見以来、多くの見学者が訪ねるようになったが、当初の受入れ態勢は十分でなかった。そこで、自然環境破壊とならないように、極力「手づくり」による来訪者受け入れの整備を行った。発見現場近くの JR 駅前に可愛い恐竜親子像の設置、駅から発掘現場までの道のりに恐竜親子の足跡アートを作成、発見地には地元間伐材使用の等身大（16m）の恐竜モニュメントの制作、発見現場の展望台、道路には案内看板の設置など。「おもてなしの心」を全面に出した地域住民参加による活動を通じて、住民間の恐竜を介した一体感が芽生えて、まちづくり活動が進むようになった。結果、まちづくり活動の拠点施設を手づくりで建設し、「元気村かみくげ」と名付けた法人「企業組合」を公募で参加の 80 名の出資者による住民参加で数々の収益事業をスタートすることができた。

4. 今後の課題等

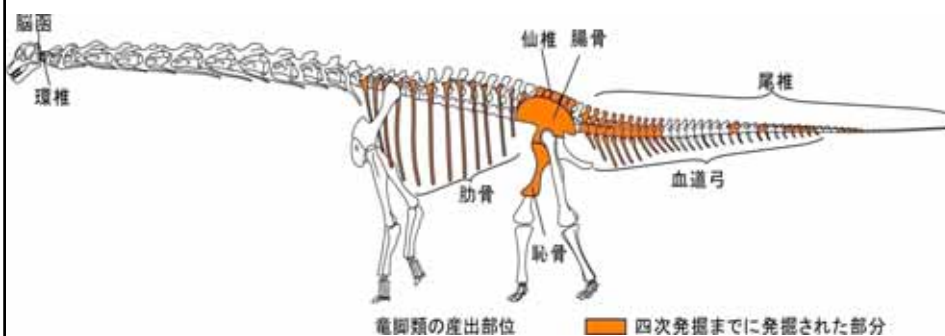
恐竜化石を地域の重要資源と位置づけた活動の傍ら、従来からの地域内に眠る多くの観光資源を再発見、再整備することによって、来訪者の満足度アップを目指して官民一体で遊歩道整備、渓谷のつり橋の補強、発見地周辺の公園化などまちづくりには時間がかかる。現在の活動に従事する多くが高齢化するなかで、今後の新たな活動参加者の有無を懸念する。「まちづくりは永遠の課題」と位置付けてはいるが、少子高齢化、人口減少化の進む中で、如何に次世代のまちづくり活動者を育てるかが大きな問題として残る。

丹波竜化石と歩む
恐竜の里づくり活動史 (抜粋)
丹波市・上久下恐竜の里づくり協議会



1億年前の我がまちの想像風景 作画:山本 匠氏

丹波竜化石発見の部位



国内最大級草食恐竜(体長15m、重量5t、腰高5mと想定)

H19.11 案内看板設置(集落内8ヶ所)

(地域団体活動パワーアップ事業)



H19.12 発掘現場周辺にベンチ・展望台設置

(パワーアップ事業)



H20.5 「上久下恐竜の里新聞」1号発刊
平成24年1月で41号

- 地域住民に広く地域内情報をやさしい言葉で伝達
- 特に、外出機会の少ない高齢者の貴重な情報源



H20.8 化石発見2周年記念イベント
木製等身大丹波竜モニュメント

- 延べ150人、1ヶ月で完成、今や地域のシンボルの一つとなっている。



H20.12 恐竜親子足跡アート製作 (下滝駅～発掘現場 1.8km)

- JR利用の来訪者への道しるべとして重宝



H21.11 恐竜焼き発売開始 (農水省ふるさと支援事業)

- 世界に一つの丹波竜焼きに人気
- (大納言小豆入り・お好み焼き風)



丹波竜の里 企業組合「元気村かみくげ」設立

- * 地元住民より出資者公募 87名の出資者希望
- * 事業内容：化石発掘体験事業、恐竜焼きほか軽食販売、地元新鮮農野菜販売、恐竜関連グッズ販売、公営施設(公園など)管理、案内ガイドなど
- * 設立の目的：
地域の活性化と地域社会への還元(貢献)
 - ・老社会活動などの支援
 - ・子ども会、愛育会など子育て活動を支援
 - ・文化、伝統行事を支援 など

企業組合「元気村かみくげ」活動

(化石体験・恐竜焼き・農野菜販売・
恐竜関連グッズ販売、化石展示施設)



化石発掘体験には年間5000人の子どもから大人までが来場、恐竜の歯や骨片、カエル・トカゲなど小動物化石を多く発見